

令和7年度 社会福祉法人東静会 事業計画

本年度の新規事業

本年度から母子生活支援施設「中野区さつき寮」の受託経営が開始する。子育て支援短期事業を展開し、地域住民に広く深い事業として中野区が積極的に取り組んでいることから東静会としても前向きに協力していく。同時に施設内のサービスを現状から向上させ、インケアの充実をはかっていく。

法人としても理事会、評議員会を開催し、「中野区さつき寮」の理解を深めていく。また、役員（理事、監事）は施設訪問し、施設運営や職員への助言や相談を実施する。

本年度の動向

一昨年度に「のぎくホーム」は「トットジョイ」と覚書をかわし、共同で暫定対策、人事・研修対策、緊急対策を実施し、施設の安定的運営を目的とした活動を展開し始めた。本年度も同様の活動を実施する。

1. 法人運営

○ 啓蒙活動

施設のパンフレット及びホームページ等を活用する。特にホームページに「空き室情報」を掲載し、行政がのぎくホームの空き室の状況を把握できるようにする。

電話等による行政からの空き室の確認で入所まで至らなかった場合、その行政機関へパンフレット・概要等を送付する。

設立の浅い当法人は役員や評議員の現職または職歴を公表することで法人の理解を深めることができる。

法人パンフレットを作成し、法人活動について理解を得る。

2. 施設運営

○ 公認会計士による外部監査の実施

本年度から「のぎくホーム」同様に「中野区さつき寮」においても公認会計士による監査を年に複数回実施する。

○ 苦情解決の結果を公表

苦情の申し出、解決の結果は施設の「事業報告」に掲載し、法人のホームページを通して法人の「事業報告」へも掲載し、公表する。

○ 職員公募の取り組み

中野区さつき寮の受託経営に伴い職員を募集したがかなり厳しい状況にある。原因として民間の企業に比べて初任給があまりにも低すぎる。そして少子化の影響と福祉職を希望する者の減少で応募者が少ない。これは1法人で取り組むにはかなり厳しい状況にあり、今後の検討課題としたい。

○ 職員研修の実施

施設独自の職員研修を検討し、講師を招いての研修や全国母子生活支援施設協議会の研修に積極的に参加し、職員のスキルアップを図る。また職員研修の一環として「のぎくホーム」と「中野区さつき寮」の相互訪問をする。しかし「中野区さつき寮」の安定的な運営がなされて初めて実施できることであり、次期は慎重に検討していきたい。

○ 地域との関係

町会の行事に新型コロナの動向をみながら参加を検討していく。母子のコミュニケーションに繋がるよう職員は努力する。

○ 被虐児童を含む要保護児童の一時保護を積極的に受け入れる。

3. 母子生活支援施設「トットジョイ」との施設連携について

一昨年度「トットジョイ」と覚書をかわしており、連携して共同で以下の行事を実施する。

○ 充足率を向上させるために行政へパンフレットを持参し、入所を依頼する。また、ブロック研修を通して施設をPRし、入所へ繋げる。

○ 合同研修等を通して職員交流を行い、人材確保へ繋げる。

○ 災害時に物資の提供や職員を派遣し、緊急援助を行う。

4. 地域災害の対応

○ 火災、地震、その他の災害が発生した時、東静会は地域と協力し、施設の機能を最大限に発揮し、救出・救護活動等を行うとともに被害を最小限に防止できるように努力する。